

4

だん ぞん ぼう
団 蔵 坊

新田大根町



大慶寺の北西に位置し、沼底全体から常時湧出しているため湧出量も多くなっています。赤城山の良好な眺望が見られます。名前の由来は、大慶寺の僧侶との関係が深いと考えられます。

近くには、古代（およそ1,300年～1,000年前）に奈良の都と東国をつなぐ官道として整備された東山道駅路が発掘されています。



〈推定東山道駅路案内板〉

5

かざ ふき ぬま
風 吹 沼

新田大根町



湧出量は安定しており、時折カワセミが姿を見せます。大正末期に赤城沼が埋め立てられ、北側半分が風吹沼として残されています。沼の南に鳥居と祠が残され赤城沼跡の名残があります。当地方は冬の季節風が強く、沼をさらうと必ず風が吹くといういわれがあり、名前の由来とされています。

現在でも湧水が農業用水として利用されています。



6

みのがいとぬま
美濃谷戸沼

新田大根町



北西面の池から湧出し、下流の2つの池は溜池の機能を持っています。北に赤城山の眺望があり周囲は自然の景観が残されています。隣接する字松原に鎮座（ちんざ）していた合祀前の「諏訪神社」にまつわる呼称とされています。



7

みょうさんじぬま
妙参寺沼

新田大根町



江戸時代から記録に残る大きなため池です。公園施設としてせせらぎ水路、園路、休憩施設、駐車場、トイレ、植栽等が整備されています。桜の木が多数あり、春にはたくさんの方が訪れています。曹洞宗寺院が東に接していたことにより命名されたとされています。カワセミも姿を見せます。

